

# 目指すべき将来都市像

## まちづくりの方向性と将来都市像

中津川市が魅力あるまちとして持続的に発展していくためには、住民、事業者、行政など中津川市に関わる人々が同じ方向を向いて、それぞれの責任と役割を担い、相互に連携していくことが必要です。

中津川市のまちづくりの方向性は「ひとづくり」、「地域づくり」、「安心づくり」をすすめ、「未来」、「絆」、「持続可能性」へとつなぐことで、幸福に生きることができる「笑顔」と「ワクワク」する未来への期待を作り出します。

まちづくりの方向性に基づき、中津川市の将来都市像を次のとおりとします。

将来都市像

「ほどよいまち なかつがわ」

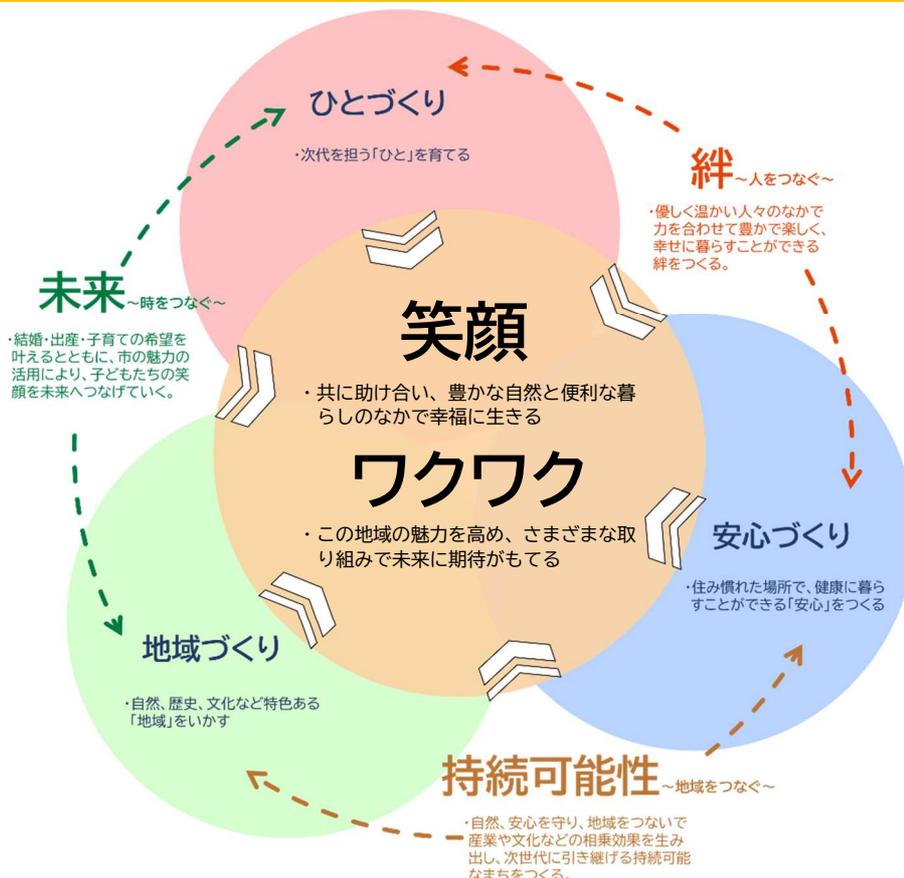
くらすほどよいまち

あそぶほどよいまち

はたらくほどよいまち

なかつがわ

「ほどよいまち なかつがわ」とは、幸福と期待にあふれた、2つの意味を持ちます。  
自分らしく、自然体で暮らせる居心地の良いまちのなかで幸福に、笑顔で生きることができる「ちょうどよいまち=ほどよいまち」  
暮らせば暮らすほど好きになる、遊べば遊ぶほどまた来たくなる、働けば働くほど応えてくれる、未来へのワクワクにあふれる「～するほど、よいまち=ほどよいまち」



まちづくりの方向性と将来都市像のイメージ図